

鯖をたてよう (その 3)

- 設定の追加と新着メールの通知 -

浅 田 拓 志

1 . あれから

サーバをたててから数ヶ月。使っている内に、具合の悪いところが出てきました。ある時、ブラウザでメールをチェックしてみると、文字化けするようになっていました。インストールしたときは、文字化けはしなかったように思いますが。これまで設定ファイルを変更した覚えはありません。あるとすれば `apt-get update` や `dselect` で OS やアプリケーションを `update` しているうちに、設定ファイルが変化した可能性考えられる程度です。ここでは、この文字化け対策について記すことにします。また、構築したメールサーバは携帯電話からもアクセスできるので、メールが届いたことを知らせる「新着メールチェック機能」を使えるようにしました。この機能は、私のように携帯電話は持っていないけれども、工作中、常に新着メールの有無をチェックしているメールアドレスがある場合には有用です。

2 . Web メール の 文字化け対策

これまでに何度か `update` していて、`php4` の設定ファイル `php.ini` が書き換えられていたことがありました。その時のエラーメッセージは、「****のファイルがない」というようなたぐいのものでした。が、今回は違います。インストールの時に、それに関連した項目はありません。(鯖をたてよう(その2)参照) 参考にしたサイトにも、そのような記述は見あたりませんでした。思いあぐねて、以前お世話になった " trustbee " のサイトに質問した所、「`php.ini` の `mbstring` の設定と、`IMP` の `config/defaults.php3` の一番下の日本語関係の設定」が怪しいことがわかりました。`/etc/php4/apache/php.ini` の `mbstring` の設定を調べたところ、この部分はコメントになっていたため、これを外して

```
[mbstring]
mbstring.internal_encoding = EUC-JP
mbstring.http_input = auto
mbstring.http_output = SJIS
```

```
mbstring.detect_order = auto
mbstring.substitute_character = none;
```

とすると、文字化けは起こらなくなりました。そのほか、`/var/www/horde/imp/config/defaults.php3` の一番下の日本語関係の設定を

```
/* I18N Encoding */
$default->i18n_module           = 'i18n'; /* I18n/jstring/mbstring */
$default->http_filename_encoding = 'SJIS'; /* EUC/SJIS */
$default->http_contenttype_encoding = 'EUC-JP';/* EUC-JP/ShiftJIS */
```

になっているか確認してください。

3. 新着メールの通知

指定時間間隔ごとに新着メールをチェックするおまけが「WebSylpheed 改良版のちょっと改造版」の `ws_check` 内にあります。これは WebSylpheed と一緒にインストールされています。

(1) `/var/www/horde/i-mode/ws_check/mailcheck.php` の設定

`mailcheck.php` の以下の所を変更します。

```
$ws_url = "http://www.isono.com/im";
```

とし

```
// $head = "From: $mail_addr";
$head = "From: mailchecker@isono.com";
```

とします。WebSylpheed を別名のディレクトリにインストールした場合には、`$ws_url` にその URL を書きます。

(2) `check.sh` の設定

`sess_file` には websylpheed のパスワードファイルである `websylpheed.sess` のある場所を記述します。

```
sess_file="/var/mail/websylpheed.sess"
```

`url` には `mailcheck.php` への値を記述して、

```
url="http://localhost/horde/i-mode/ws_check/mailcheck.php"
```

とします。ここで気をつける点は、`httpd.conf` 中で `Alias` を設定していても、`url` には上述のように `/var/www` 以下を省略せずに記述しなければなりません。あとは、`crontab` で 30 分ごとにメールをチェックさせることにします。そのために、`/etc/crontab` に

```
* /30 * * * * root /var/www/horde/i-mode/ws_check/check.sh
```

を付け加えます。

以上で、ws_check の設定は終わりですが、通知先の設定をしやすくするために、apache の httpd.conf (/etc/apache/httpd.conf) に Alias を設定しておきます。

```
Alias /mailcheck/ /var/www/horde/i-mode/ws_check/index.php
```

これで、ブラウザから

```
http://www.isono.com/mailcheck/
```

とアクセスすると、下図の画面から通知先を設定することができます。図はパソコン上の画面を携帯電話の画面風にアレンジしています。「送信先」にはメールの受信を知らせるメールアドレスを設定します。新着メールがあると、

```
差出人 mailchecker@isono.com
```

```
題名 1 通の新着メール(21:30 ~)
```

なるメールが届きます。メールの本文は

```
http://www.isono.com/im/maillist.php?sess=572401af25b88.....e20b
```

```
日曜日
```

となっています。印のところに、届いたメールの題名が表示されます。URL の部分をクリックすると、受信メール一覧の画面が表示されます。パソコンからアクセスしている場合には、携帯電話用の画面をパソコンで見ることになります。

4 . その他の不具合

他にも気が付いている不具合があります。ファイルサーバにアクセスする方法として、FTP、Samba、WebDAV の3種類の手段を組み込みました。ファイル名が英数文字の場合は問題がないのですが、日本語のファイル名の場合に、例えばFTP でアップしたファイルを WebDAV で見ると、ファイル名が文字化けします。文字化けしない組み合わせもありますが、ファイル名を英数文字で使うようにした方が良いでしょう。

(あさだ ひろし : 工学部物理工学科)

ユーザーID
パスワード
送信先
間隔 停止
送信 取消